2019年9月10日
於：鹿島平和研究所

京都大学大学院 総合生存学館 准教授
関山　健

米中対立の展望

-なぜ経済相互依存は対立を抑止できないか-

発表内容

- なぜ、米中は、経済相互依存の下で、対立を深めているのか？
- 経済相互依存は、米中対立の抑止に役立たないのか？
- 今後の米中対立は、どの展開するのか？

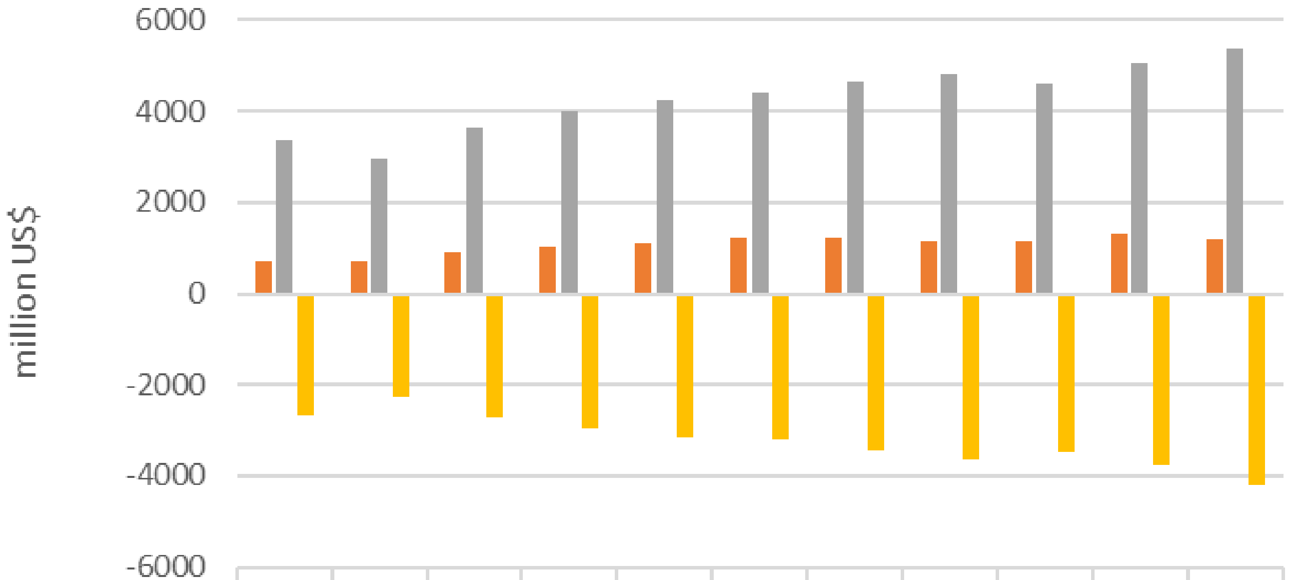
米中の相互関税引き上げ

	実施日	米　　国			中　　国		
		対象品数	対象金額	追加関税率	対象品数	対象金額	追加関税率
0	2018/3/23	鉄鋼 25%，アルミ 10%			128	$30 億	15~25%
1	2018/7/6	818	$340 億	25%	545	$340 億	25%
2	2018/8/23	284	$160 億	25%	333	$160 億	25%
3	2018/9/24	5745	$2000 億	10%	5207	$600 億	5%/10%
	2019/5/10			25%			
4	2019/9/1	3243	$1100 億	15%	1717	$750 億	5~10%
	2019/12/15	555	$1600 億	15%	3361		

データ出所）日本経済新聞

米中の
経済相互依存

米中物品貿易額の推移



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
U.S. Exports	715	696	919	1039	1106	1220	1240	1162	1158	1304	1203
U.S. Imports	3378	2964	3649	3993	4256	4404	4667	4819	4628	5056	5395
Balance	-2663	-2268	-2730	-2954	-3150	-3184	-3427	-3657	-3470	-3752	-4192

データ出所）U.S. Census Bureau

なぜ、米中は、経済相互依存の下で、
対立を深めているのか？

二国間関係の決定要因

◆ AB間の二国間関係(R)＝A国の外交姿勢(P_A)+B国の外交姿勢(P_B)

◆ 外交姿勢(P_X)＝相手国との関係性[戦略的関係性(s)＋経済依存度e]

＋

自国 の 国内要因 [国内政治経済(d)＋政策決定者の認識(I)]

ただし、

- 戦略的関係性＝ジオポリティクス＋パワーバランス＋イデオロギー
- 中長期の経済依存度は二国間関係の良し悪しに応じて変化（e=f (R)）

経済相互依存下の対立

６つの仮説

なぜ米国は、中国に貿易戦争をしかけたのか？

	要　　因	代表的論者
1	民主体制 vs. 非民主体制	Doyle (1983) Russet (1993)
2	トゥキディデスの罠	Papayoanou1 (1996) Allison (2018)
3	相互依存の外交的対立助長効果	Sekiyama (2019)
4	貿易投資の将来利益に関する認識	Copeland (2014)
5	非対称な相互依存関係	Marrow (1999, 2003) Gartzke (2003, 2007)
6	比較劣位産業からの突き上げ	Rodrick (2011) Sekiyama (2019)

①民主体制 vs. 非民主体制

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 経済相互依存は民主主義国の間でのみ紛争抑止
- 民主主義国の間では、
  （１）平和的解決を好む規範が共有されている
  （２）相互不信が高まりにくい
  （３）批判の大義名分を作りにくい
- 非民主主義国に対しては
  （１）平和的解決を好む規範を共有していない
  （２）中国の政策決定過程は不透明で不信が残る
  （３）批判の大義名分を見出しやすい

②トゥキディデスの罠

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 既存大国と新興大国との覇権争いは不可避
- 過去500年の新旧覇権争い16件中、12件で軍需衝突
- 軍事衝突回避の要因
  ✓超国家的権威の仲介
  ✓超国家的機構での協力
  ✓文化的共通点
  ✓核兵器による相互確証破壊
  ✓ 経済相互依存による相互確証「経済」破壊

③相互依存の外交的対立助長効果

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 経済相互依存➡軍事衝突を抑止
- 軍事衝突の可能性小

  ➡外交対立や経済摩擦を我慢する誘因低下（遠慮の欠如）

  (熟年夫婦で口喧嘩が絶えないのと似た状況？)
- 近年の日中関係、日韓関係、そして米中関係に共通する特徴

③相互依存の外交的対立助長効果

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 対中関税による追加財政収入

✓第1~3弾で推定300億ドル/年、第4弾で更に400億ドル/年
✓バラマキ政策（e.g.農家に補助金145億ドル）も可能

- 関税引き上げコスト（米国での価格転嫁）の回避

✓対中依存度の低い品目から対象に
✓中国側輸出者に値下げ圧力
✓人民元安の影響（2018.3➡2019.8　14.4%元安ドル高）

④将来利益に関する認識

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 経済相互依存の紛争抑止力は、国家指導者が貿易投資の将来利益についてて楽観的な場合のみ有効。

- トランプ大統領「われわれに中国は必要ない。いない方がまし。」

（2019.8.23 Twitter）

⑤非対称な相互依存

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- より依存の小さい国は、より依存の大きい国に対して高圧的になる。
- 貿易依存度（貿易総額／名目ＧＤＰ）
  ✓中国：32.3%（世界174位）米国：19.98%（200位）
  ✓ちなみに日本：27.3%（186位）
- 相手国への依存度（相手国との貿易額／貿易総額）
  ✓米国の中国依存度：0.7%
  ✓中国の米国依存度：4.2%

⑥比較劣位産業からの突き上げ

（外交姿勢＝戦略的関係性＋経済依存度+国内政治経済＋政策決定者の認識）

- 自由貿易は必ず敗者を生み出す
- 自由貿易の敗者は自国政府を強硬姿勢へと動かす国内政治要因
- 米国では、90-07年の間に、中国との貿易競争で150万人が失業
- 米中貿易戦争≠単なる米中覇権争い

＝「世界経済の自由化」と「国内経済の安定」の矛盾

米中対立の展望

短　期（向こう1年程度）

- 米国が追加関税収入を手放してまで早期決着する望みは薄い。

中　期（2020年代）

- もし米中経済ﾃﾞｨｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞが進むと、経済相互依存の抑止低減。
- 今の国際経済ルールを放置すると、世界経済の自由化と国内経済社会の安定との矛盾が増大し、対立を誘発。

参考文献

- Allison, G. 2017. *Destined for War: Can America and China Escape Thucydides's Trap?* Boston: Houghton Mifflin Harcourt.（藤原朝子訳『米中戦争前夜――新旧大国を衝突させる歴史の法則と回避のシナリオ』ダイヤモンド社）
- Autor, D., Dorn, D., & Hanson, G. H. 2013. The China Syndrome: Local Labor Market Effects of Import Competition in the United States. *American Economic Review* 103(6): 2121-2168.
- Copeland, D. 2014. *Economic Interdependence and War*. Princeton: Princeton University Press.
- Doyle, M. 1983. Kant, Liberal Legacies, and Foreign Affairs. *Philosophy and Public Affairs* 205: 207-208.
- Gartzke, E. 1998. Kant We All Just Get Along? *American Journal of Political Science* 42: 1-27.
- Papayoanou, P. A. 1996. Interdependence, Institutions, and the Balance of Power. *International Security* 20: 42–76.
- Rodrick, D. 2011. *The Globalization Paradox: Democracy and the Future of the World Economy*. New York: W. W. Norton & Co.
- Russett, B. 1993. *Grasping the Democratic Peace: Principle for a Post-Cold War World*. Princeton. Princeton University Press.（鴨武彦訳 『パクス・デモクラティア - 冷戦後世界へ の原理』東京大学出版会）
- Sekiyama, T. 2019. An Outlook for the US-China Trade War: What makes the two economically interdependent superpowers confront each other? *Security Studies,* 1, 1, 38-49.